

Safety Data Sheet (安全データシート)

EC 規則 No. 1907/2006 (REACH) に基づく



製品名 : LI-1073P 黄色発光

バージョン : 6.0.1

作成日 : 2020 年 11 月 16 日

1. 製造会社及び情報

1.1 製品名 : LI-1073P 黄色発光 (15034771005040)

(ルミナスインク イエロー)

1.2 特定関連物質及び混合物の推奨使用用途 : 産業用マーキングインク

1.3 製造者名 / SDS 供給者名

製造者 : シュテファン・クーピーツ化学製造合資会社 (Stefan Kupietz GmbH & Co. KG)

所在番地 : アウグスト・ヴィルヘルム・クーンホルツ通り 9 番地

所在国 / 郵便番号 / 市町村名 : ドイツ (Germany) / 26135 / オルデンブルグ

電話番号 / ファックス : +49 (0) 441/20 69 30 / +49 (0) 441/20 69 520

お問い合わせ E メール : info@kupietz.de

1.4 緊急電話番号 : +49 (0) 551-19240 (Poison emergency center)

1.5 国内取扱業者の情報

会社名 : 株式会社伊藤印章 (Itoinsyo Corporation)

住所 : 日本 (JAPAN) 静岡県袋井市高尾町 10 番地の 13

電話 : 0538-42-7241 FAX : 0538-42-7243

メール : webmaster@ito-insyo.co.jp

2. 危険有害性の要約

2.1 物質または混合物の分類

規制 (EC) No.1272/2008 (CLP)

Flam.Liq. 3; H226 可燃性の液体 : 分類 3 ; 引火性液体および気体

Eye Irrit. 2; H319 深刻な目の損傷と炎症 : 分類 2 ; 重い炎症を起こす

2.2 ラベル要素

規制によるラベル表示 (EC) No.1272/2008 (CLP)

有害性表示



引火性 (GHS02) ・ Exclamation mark (GHP07)

シグナル言語 : 注意

有害性説明 :

H226 引火性の液体及び気体

H319 目に対し重い炎症を起こす

使用上の注意：

P210 熱、火花、裸火、高温の発火源から遠ざけること。禁煙。

P233 使用時以外は常に容器に蓋（キャップ）をしておくこと。

P240 安定した場所、入れ物に入れ保管してください。

P337+P313 皮膚（髪）に付着した場合：汚染された衣類を直ちに脱ぎ、
水で洗い流すこと。目に異常を感じたら医師の診断を受けてください

P305+P351+P338 もし目に入った場合はお水で数分洗い流してください。

コンタクトレンズをしいて外れる様であれば外してそのまま洗い流してください。

P403+P235 換気の良い場所で保管する事。涼しい所で保管すること。

2.3 その他の危険：なし

3. 組織／成分情報

3.2 混合物 有害成分

プロパノール; REACH 登録番号：01-2119457558-25-xxxx ; EC 番号：200-661-7 ; CAS 番号：67-63-0 ; 割合 < 15 %

重量分率：分類 1272/2008 [CLP] : Flam . Liq . 2 ; H225 Eye Irrit. 2 ; H319 STOT SE 3 ; H336

追加情報：記載されている危険性の表現の文言については、項目 16 を参照してください。

4. 応急処置

4.1 応急処置について

一般処置： 汚れた衣類を直ちに全て脱いで下さい。

吸い込んだ場合： 新鮮な空気を与えてください。

皮膚に付着した場合：石鹼と水で洗い、すすいで下さい。

目に入った場合： 大量の水で眼を洗い流し(10～15 分間)医師の診察を
受けて下さい。

飲み込んだ場合： 多量の水を飲んで下さい。

4.2 急性・遅延による重大な症状及び影響：特になし

4.3 即時の医療上の注意及び特別な手当：特になし

5. 火災時の処置

5.1 適した消化剤：耐アルコール性泡、二酸化炭素、粉末、水噴霧

5.2 物質又は混合物から生じる特別な有害性：なし

5.3 消防士へのアドバイス：なし

5.4 追加情報：火災が生じた場合、危険な容器を水で冷やして下さい。

6. 不慮の漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護用具、緊急手順：

有機溶剤を含んでいる為、発火源には近づけないようにし、換気をして蒸気を吸い込まないようにして下さい。

6.2 環境に対する注意事項：

液体を吸収する吸着するような物質で吸い取り、廃棄処分に関する規定に従って処理して下さい。洗い流さないでください。

6.3 こぼれた液体の清掃法／収集法

こぼれた液体を機械的に取り除き、残留物は吸着材で吸い取って下さい。

6.4 その他の注意事項：なし

7. 取り扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取り扱いについて：

化学物質を扱う場合の通常の予防措置を取って下さい。

十分な換気の出来る場所でのみ使用して下さい。

保護対策：

防災策：細心の注意を払って取り扱ってください。

発火源には近づけないようにしてください。禁煙。

7.2 安全な保管のための条件（あらゆる不適合を含む）技術的対策および保管条件：

容器の蓋を開けたままにしないで下さい。

容器は地上に保管して下さい。

相容れない製品との分別保管について：

食料品とは別の場所に保管して下さい。

酸化剤、強アルカリ性や強酸性の物質から遠ざけて保管して下さい。

保管クラス（TRGS 510）：3

容器の蓋をしっかりと閉めて、換気の良い涼しい場所に保管して下さい。

7.3 特定最終用途：なし

8. 曝露対策及び個人による曝露予防

8.1 制御パラメーター

職業曝露限界値：

グリセロール；CAS-No.：56-81-5

限界値の種類(原産国)：TRGS 900(D)

パラメーター：E (inhalable fraction)

限界値：200 mg/m³

ピーク時の制限：2(I)

備考：Y

バージョン日付：2019年3月29日

イソプロピルアルコール；CAS-No.：67-63-0

限界値の種類(原産国)：TRGS900(D)

パラメーター：E (inhalable fraction)

限界値：200ppm / 500mg/m³

ピーク時の制限：2(II)

備考：Y

バージョン日付：2019年3月29日

生物学的限界値：

イソプロピルアルコール；CAS-No.：67-63-0

限界値の種類(原産国)：TRGS 903(D)

パラメーター：アセトン / 全血(B) / 暴露または勤務終了時

限界値：25 mg/l

バージョン日付：2019年3月29日

限界値の種類(原産国)：TRGS 903(D)

パラメーター：アセトン / 尿(U) / 暴露または勤務終了時

限界値：25mg/l

バージョン日付：2019年3月29日

8.2 暴露防止及び保護措置：

個人用保護具

眼、顔面の保護具

保護眼鏡を着用すること。

皮膚の保護具

手の保護：防護用のブチルゴム手袋(厚さ 0.5mm)を使用して下さい。

手袋の素材は、物質の透明時間が 240 分(4 時間)以上のレベルでなくてはなりません。

(ヨーロッパ標準規格[EN]374 による)

呼吸器の保護具

適切な呼吸保護具

エアロゾルまたはミストの形成時に必要な呼吸保護具。

ハーフフェイスマスク (DIN EN 140) フィルタリング装置 (フルマスクまたはマウスピース)

フィルター付き。

目の保護：密着性の高い安全メガネを着用して下さい。

一般情報：化学物質の取り扱いに関する通常の予防措置を遵守する必要があります。

9. 物理化学的特性

9.1 外観的特性

形状：液体

色：白っぽい(whitish)

臭い：顕著

安全性関連データ

沸点/沸騰温度範囲：(1013hPa) 100°C超

引火点：25°C未満 (ブルックフィールド)

蒸気圧：(50°C) 1100hPa 未満

密度：(20°C) 1064 g/cm³

溶媒分離率：(20°C) 3%未満

pH 値 約 8.4

流動時間：(20°C) 約 28 秒 (4mm の DIN-cup による)

9.2 追記：

上記の物理化学的特性は、おおよその値です。使用する状況に即した安全性
関連項目を参照するようにして下さい。

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性：製品上データなし

10.2 化学安定性：製品上データなし

10.3 有害反応の可能性：製品上データなし

10.4 避けるべき条件：手順に従って扱った場合なし

10.5 混触危険物質：酸化剤から遠ざける。

酸化剤、強アルカリ性物質、強酸性物質から離して発熱反応を回避して下さい。

無機酸、有機酸、酸性塩化物との接触により激しい反応を起こし、二酸化炭素が
発生することがあります。酸、塩類、水分により水素が発生する可能性があります。

10.6 有害な分解生成物：製品上データなし

11. 毒物学的情報

1.1 毒性の影響：

パラメーター：LD50 (イソプロピルアルコール CAS No. : 67-63-0)

曝露経路：口

種類：ネズミ

反応服用量：5840 mg/kg

急性吸入毒性：人体実験

わずかな麻酔性。高濃度の蒸気を長時間吸い込むと、頭痛、めまい、吐き気を催す場合があります。

12. 環境学的情報

12.1 毒性：製品上データなし

12.2 環境からの除去に関する詳細情報(残留性/分解性)：

適切な生物学的浄化設備で適正な方法によって処理される場合には、分解が阻害されて
環境中に残留することはないと予想されます。

12.3 潜在的生物蓄積性：生物濃縮性の兆候はない。

12.4 土壌中での移動性：土壌中での移動性は非常に高く、沈殿物からの流出傾向は無視できる。

12.5 PBT および vPvB 評価の結果

混合物中の物質は、REACH 規則の付属書 XIII による PBT/vPvB 基準に合致していない。

12.6 その他の有害事象：製品上データなし。

12.7 追加情報：河川や湖沼、海、及び家庭の排水口には流さないで下さい。

13. 廃棄する際に考慮すべき事柄

13.1 製品の廃棄

勧告：廃棄は地方自治体の規制に従って行って下さい。

廃棄物枠組み指令 2008/98/EC

意図的使用後—廃棄物コード；EWC/AVV 廃棄物指定事項—080111

汚染された包装材の廃棄：

汚染された包装材や容器は、残っている中身を（廃棄するか使い切るかして）必ず空にして下さい。

その後、適切な方法で浄化すればリサイクル施設に送ることが出来ます

（有機溶媒を含まない廃棄物の廃棄物コードは 080112）

浄化されていないものは適切な方法で浄化した後、同様に処理されなければなりません。

（廃棄物コードは 150110）

14. 輸送について

14.1 国連番号(UN number) : UN 1263

14.2 国連輸送名

陸上輸送(ADR/RID) 塗料関連物質

海上輸送 (IMDG) 塗料関連物質

航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR) 塗料関連物質

14.3 輸送上の危険有害性クラス

陸上輸送 (ADR/RID)

クラス(es) : 3

分類コード: F1

危険有害性情報番号(Kemler 番号) : 30

トンネル制限コード : D/E

特別規定: LQ 5 1 - E 1

ハザードラベル : 3

海上輸送 (IMDG)

クラス : 3

EmS-番号 : F-E / S-D

特別条項: LQ 5 1 - E 1

ハザードラベル(s) : 3

14.4 梱包等級 : III

14.5 環境に対する有害性

陸上輸送 (ADR/RID) : なし

海上輸送 (IMDG) : なし

航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR) : なし

14.6 使用者に対する特別な注意事項 : なし

15. 適用法令

15.1 物質又は混合物の安全・健康・環境の特別法令・規則

EU 法規制

使用に関する認可及び/又は制限

使用上の制限 REACH 規則の付属書 XVII、No.3、40 に従った使用制限

水質危険有害性クラス (WGK, AwSV 分類) クラス : 1 (水質に対してわずかに有害)

16. その他の情報

16.1 変更の表示：

- 02. 物質と混合物の分類 02.表示規則 (EC) No.1272/2008[CLP]
- 07. 保管条件:保管クラス 14. UN 適切な輸送名 陸上輸送 (ADR/RID)
- 14. UN 適切な輸送名 海上輸送 (IMDG)
- 14. UN 適切な輸送名 航空輸送 (ICAO-TI/IATA-DGR)
- 14. 輸送における危険クラス 陸上輸送 (ADR/RID)
- 14. 輸送における危険クラス 海上輸送 (IMDG)
- 14. 輸送における危険クラス 航空輸送 (ICAO-TI/IATA-DGR)

16.2 略語と頭文字：なし

16.3 参考資料：なし

16.4 混合物の分類と規制に従って用いた評価法：なし ((EC)No 1272/2008 [CLP])

16.5 H と EUH との関連について

- H225 引火性の高い液体および気体。
- H319 眼に対する重篤な刺激性。
- H336 眠気や眩暈を起こす可能性がある。

16.6 訓練に関するアドバイス：なし

16.7 追加情報：なし

本記載の内容は現時点で弊社が入手した情報等に基づき作成されたものであり、新しい知見に基づき改定されることがあります。記載内容のうち、含有量、物理化学的性質などの保証値ではありません。この SDS に明記されている取扱い方法以外に関する事故、及びユーザーの製品取扱いや危険時措置の手順等に関して当社はなんらの責任を負うことはできません。製品の正しい使用の責任の所在はすべてユーザーに帰依します。これらのデータは現時点での情報を元に作成されています。

但し、特定の製品の特徴・性質の保障を構成したものではなく、法的に有効な契約上の関係を定めたものではありません。
